

## 産応協セミナーWGの開催

10月2日(月)に産応協セミナーWGがリモート開催されました。今回の出席者は、委員3名、事務局1名の計4名でした。今回のWGの議題は、9月20日に開催した第53回産応協セミナーの総括と、次回54回産応協セミナーの企画検討でした。第53回セミナーは、89名の参加者があり、盛況でしたが、大学からの報告は内容的に少し難しい部分もありました。一方で、企業の事例をお話し頂いた、日産自動車の講師の方のお話しが、分かり易く好評でした。第54回セミナーは、来年1月頃の開催を目標にし、デジタルツインをテーマに講師選定に入ることが確認されました。

## 第4回主査会の開催

10月6日(金)に今年度第4回目の主査会がリモート開催されました。今回の出席者は、委員10名、事務局2名の計12名でした。各WG主査より活動状況の報告と質疑応答が行われました。どのWGも概ね年初に立てた活動計画通りに活動が進んでいるようです。特に施策提言WGが中心に検討を進めている、HPCIコンソーシアム調査検討WGへの説明や、第二階層HPCI資源提供機関との意見交換対応、産総研との意見交換等については、各委員の関心も高く、活発な意見交換が行われました。また、シンポジウムについては、プログラムの詳細が確定し、来週より参加者募集の広報を始めるとの報告がありました。

## 施策提言WGの開催

10月11日(水)に施策提言WGがリモートで開催されました。当日の出席者は、委員6名、陪席参加(RIST, 特別会員)3名、事務局2名の計11名でした。今回の施策提言WGの開催目的は、9月27日に開催された、HPCIコンソーシアム調査検討WGとの意見交換会の状況報告と、10月16日に開催されるHPCI計画推進委員会で行う「次期フラッグシップ計算機への期待・要望」の提言内容のブラッシュアップ及び想定問答、11月21日開催予定のHPCI資源提供機関との意見交換会へ向けての資料チェック及び想定問答確認でした。いずれも重要な省庁も加わっての外部団体との意見交換ですので、今後の産業利用促進に向けて、産応協の立場と考えをきちんと伝えるため、準備万端で臨む必要があります。

## HPCロードマップ機械系SWGの開催

10月11日(水)にHPC技術ロードマップの機械系サブWGがリモートで開催されました。当日の出席者は、委員6名、事務局2名の計8名でした。機械系SWGでは、既存のロードマップの事例に従い、SWGのメンバーを①CFRP構造解析、②冷凍サイクル、③スマートシティ・ビル・ハウス、④インフラシステム、⑤内燃機、⑥ガスタービンに分けてそれぞれ見直しを実施しており、今回は、その見直し状況の確認が行われました。どの分野も将来的な予想として生成AIを織り込むことを検討したいとの意向でした。また、その他ロードマップへの追加項目

について意見交換が行われましたが、その中で「利用者視点での運用面（ソフト面）での技術革新（利便性向上や効率化）もロードマップとして取り上げるべきではないか？との意見ができました。将来考えられる例としては、AIを利用した画期的な運用改善等が挙げられましたが、これは機械分野に限定した話ではないため、今後ロードマップの本WGでの検討に向け、機械SWGより提案することとなりました。

## HPCLoadマップ材料・化学系SWGの開催

10月12日（木）にHPCLoadマップ材料・化学系SWGがリモートで開催されました。参加者は、委員6名、事務局2名の計8名でした。今回のSWGでは、9月27日に実施したHPCIコンソーシアム調査検討WGとの意見交換において見えてきた課題について議論されました。ロードマップの中でHPCI利用に当たって、利用者側がシームレスに利用できるようにするという表現がありますが、シームレスの具体的なイメージを明確にする等の課題、また量子コンピューティングに対する産応協としての考え方の明確化等が検討されました。

## ものづくりワークショップWGの開催

10月13日（金）にもものづくりワークショップWGがリモートで開催されました。今回の出席者は、委員4名、事務局2名の計6名でした。今回は、ものづくりワークショップWGとしては、今年度初のWGでしたので、活動テーマやアイデア出しが行われました。ものづくりワークショップは、ここ数年共通データを用いて様々なアプリケーションのベンチマークを実施し、評価することを続けてきましたが、会員相互の関心事とご協力頂ける講師、ワークショップの進め方など、一度原点に戻りワークショップとして何をすべきかについて検討を進めております。そのため、年度内のワークショップ開催は、日程的に厳しい状況かと思えます。刷新されたワークショップにご期待ください。

## 第54回HPCI計画推進委員会における発表

10月16日（月）に文部科学省第54回HPCI計画推進委員会より、産応協がゲスト招へいを受け、企画委員長を含め5名の委員がWeb参加いたしました。発表内容は、産業界における次世代HPCIシステムへのニーズでした。発表後に質疑応答が行われましたが、委員会の委員からは、産業界全体のニーズの把握をしたいので、産応協に加盟していない分野（創薬等）については、それぞれのコンソーシアムと協力して、ニーズ把握を行うようにとの要望が出されました。

## HPCLoadマップ建設系SWGの開催

10月17日（火）にHPCLoadマップ建設系SWGがリモートで開催されました。今回の出席者は、委員7名、事務局2名の計9名でした。建設分野のテーマとしては、①極端気象下での都市・建築のレジリエンス強化、②温熱環境、③風荷重、④地震ハザード、⑤構造、⑥施行を取り上げていくことになっており、今回の見直しで量子コンピューティング、AIを取り入れていくことを検討しています。また、シームレスについての共通認識に向けて意見交換を行いました。

## 産応協セミナーWGの開催

10月19日（木）に産応協セミナーWGがリモート開催されました。今回の出席者は、委員3名、事務局2名の計5名でした。次回開催予定のセミナーのメインテーマは、デジタルツインと決まっていますが、今回のWGでは、講師候補の選定と開催時期及びスケジュールの検討を行いました。講師は、いつものとおり4名の方をお願いすることとし、候補を挙げて打診の担当割り振りを行いました。開催時期及び開催までのスケジュールは、来年2月開催を目標に年内に開催案内を広報するスケジュールです。ご期待ください。

## 産応協活動活性化TF広報活動グループキックオフミーティング開催

10月30日（月）に産応協活動活性化タスクフォースの広報活動グループのキックオフミーティングがリモートで開催されました。出席者は、委員3名、事務局2名の計5名でした。産応協活動に参加することの企業メリットを明確にし、経営層にアピールすることを中心に議論が進み、理究、産総研等といった外部団体との結び付きの強化等についても議論されました。今後、産応協の魅力を高め、いかに外部に向けてその魅力をアピールしていくかが検討のポイントになると思います。

以上

【スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協）事務局】

住所：東京都港区虎ノ門1-10-5 KDX虎ノ門第一ビル 6階

電話：080-6906-5461 E-Mail：[icscp\\_office@icscp.jp](mailto:icscp_office@icscp.jp)

担当：中川、滝口

### 《新規産応協会員募集について》

産応協では、新規会員を随時募集しております。

会員種別には、正会員、準会員、登録会員の三種類を設けております。

関心をお持ちの方は、以下URL若しくはQRコードより詳細をご確認のうえ、申請頂きたくよろしくご願ひ申し上げます。

<http://www.icscp.jp/admission/>

